

経営比較分析表（令和6年度決算）

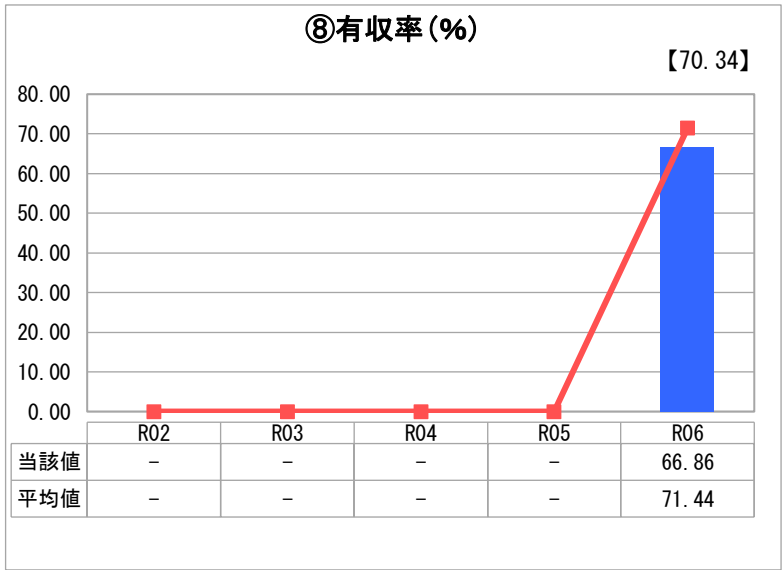
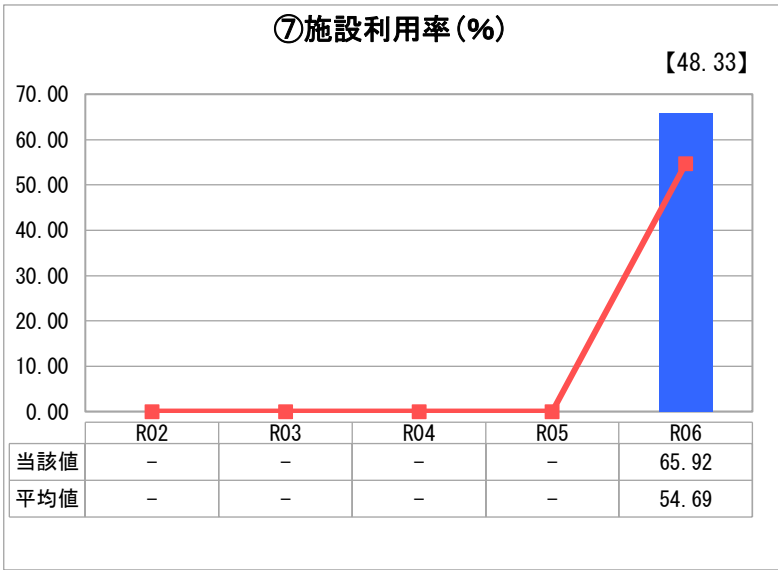
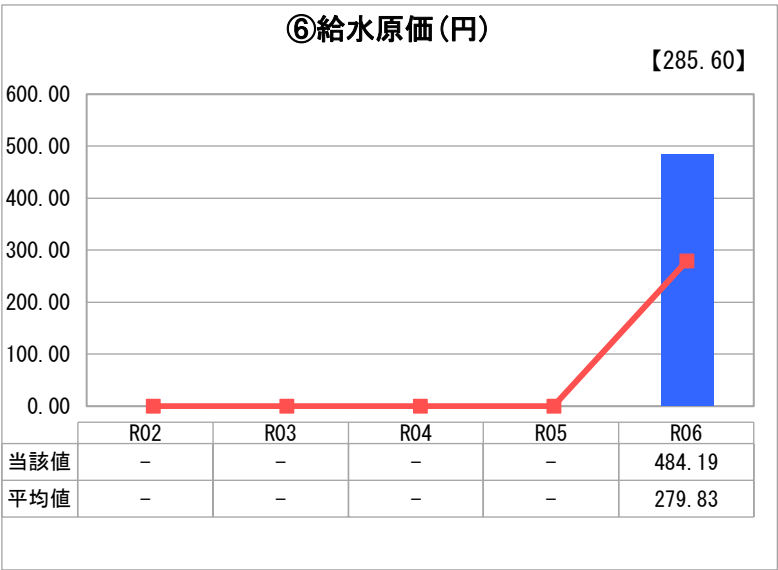
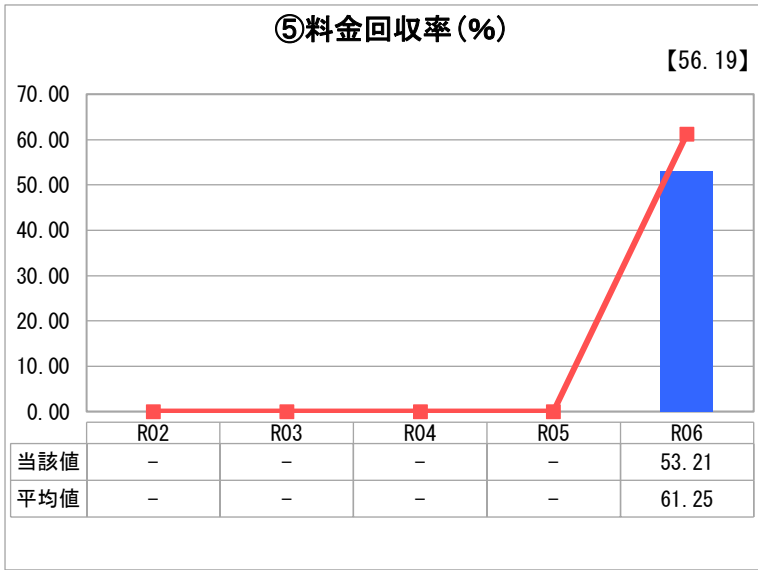
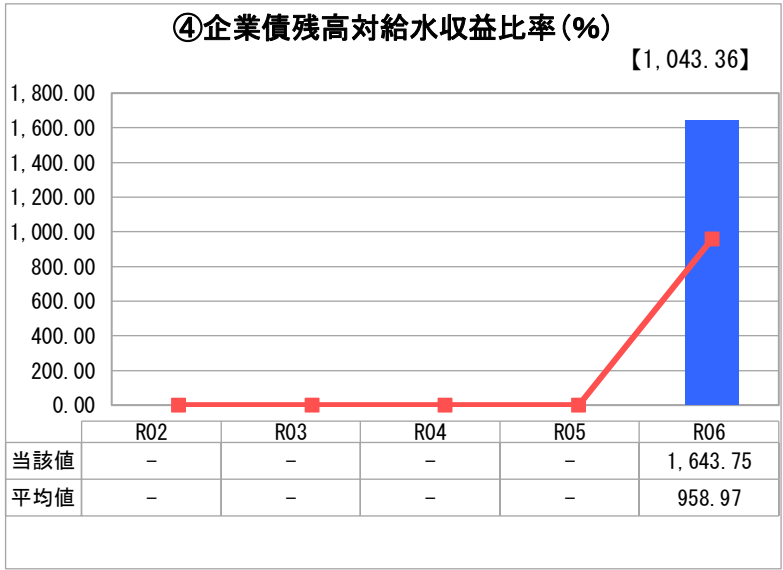
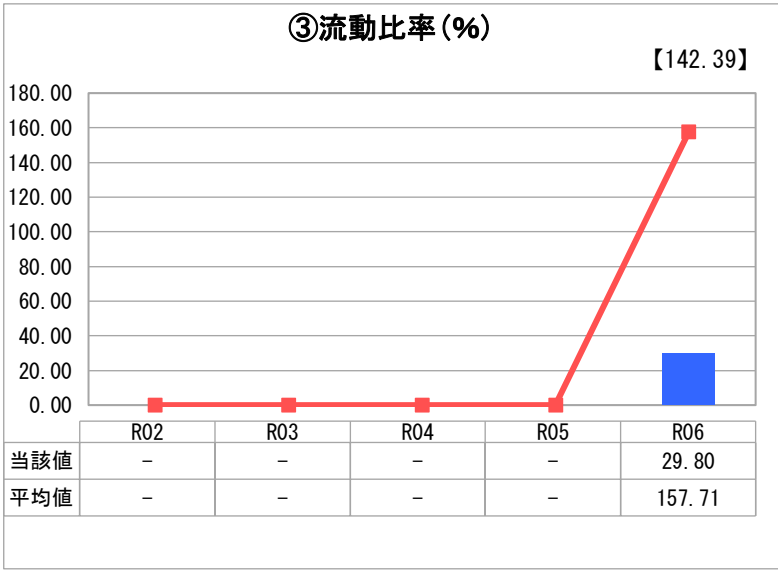
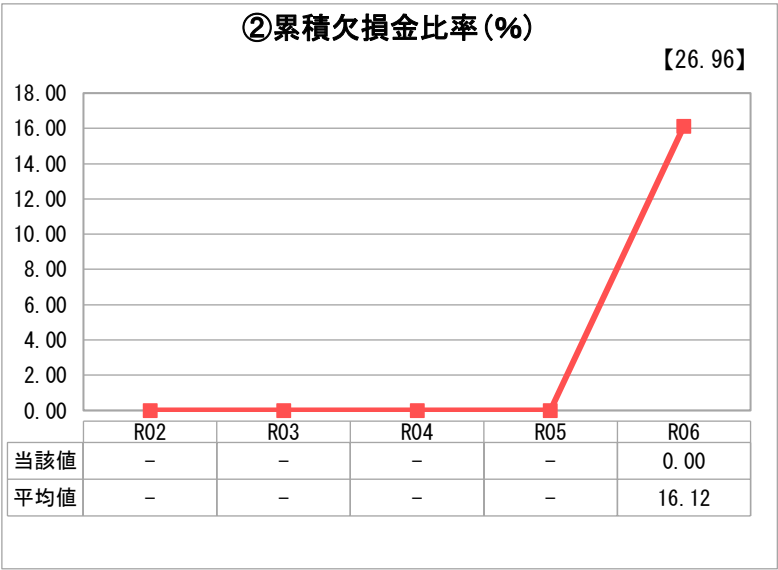
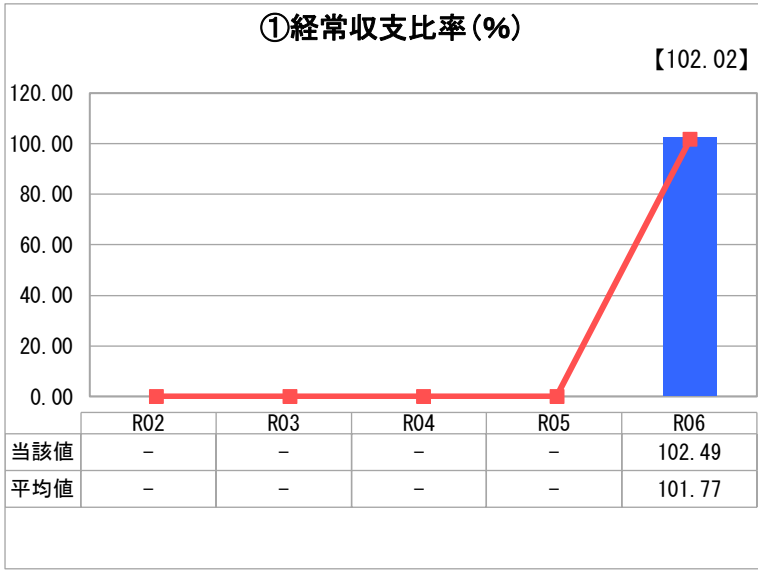
北海道 天塩町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	40.34	95.88	5,959	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,642	353.56	7.47
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,464	126.90	19.42

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

①②収益収支不足分については、一般会計からの繰入金によって賄っており、今後も収支均衡を保ちながら運営していく見込みです。

③100%を下回っていることから、短期的な支払能力に一定の課題があることを示していますが、直ちに経営の継続性に影響を及ぼすものではありません。R11年度以降からは当年度損益勘定留保資金が余ることから数値が回復する見込みです。

④施設や管路の更新に伴う新規投資により企業債が増加したため類似団体と比較して高い数値となっています。令和6年度に策定したアセットマネジメントに基づく計画的な更新により、投資の抑制を図ります。

⑤100%以上が望ましい指標に対して令和17年度に40.85%まで低下する見込みとなっており、今後の維持修繕、更新投資やサービス安定性に影響が及ぶ恐れがあるため、料金体系の見直し等が必要です。

⑥物価上昇や更新費用の増大により、有収水量に占める経費は増加していく見込みです。令和5年度では比較団体平均の1.6倍の費用を要しています。

⑦施設利用率は類似団体平均よりやや上回っているが、一部施設については老朽化が進んでいるため、適切な更新を検討します。

⑧類似団体平均をやや下回っています。配水管の老朽化に伴う微細な漏水が要因と考えられます。漏水調査を継続し、計画的な更新により無効水量の削減に努めます。

2. 老朽化の状況について

①当該施設は、令和17年度まで47億の更新工事を予定しているため、有形固定資産減価償却率は現在の54.13%から15.91%となる見込みです。これは老朽化した施設の更新が着実に進み、資産の健全性が向上していることを示します。

②アセットマネジメントによる今後40年間の各試算において、一部に経年化資産や老朽化資産が発生するものの、更新基準年数に基づく更新により、それらは拡大することなく、健全資産が平均で6割以上の状態にあることから全体として概ね健全な状態を維持できていると推測します。

③類似自治体平均よりわずかに高い状態となっています。現在、市街地区において管路更新工事を令和13年まで計画的に更新している外、雄信内地区、泉源産土地区においても更新を予定しています。

全体総括

今後、更新費用や維持管理費の増加及び人口減少による料金収入の減少が進み、一般会計からの繰入金の割合の増加が予想されます。経常的な経費の抑制に努めるとともに今後の人口動向や施設更新需要を踏まえると、さらなる経営の効率化が求められます。引き続き計画的な施設更新と長期的な財政見通しに基づく経営管理とともに、必要に応じて料金体系のあり方についても検討をすすめ安定した給水サービスを継続できるよう持続可能な事業運営に努めます。

2. 老朽化の状況

